

参考

1 語句説明一覧表

現在作成中です。

2 策定経過

	年月日	曜日	場 所	内 容
1	平成 15 年 5 月 21 日	(水)	川崎市立高津高等学校会議室	【第 1 回策定委員会】(専門委員含む) 委嘱状の交付 教育委員会からの諮問について 川崎市の教育の現況と課題について
2	平成 15 年 7 月 24 日	(木)	高津市民館 視聴覚室	【第 1 回社会教育専門部会】 川崎市の教育の現況と課題について 市民へのアンケートについて
3	平成 15 年 7 月 24 日	(木)	中小企業婦人会館 大会議室	【第 1 回学校教育専門部会】 川崎市の教育の現況と課題について 市民へのアンケートについて
4	平成 15 年 7 月 25 日	(金)	中原市民館 第 3 会議室	【第 1 回教育行政専門部会】 川崎市の教育の現況と課題について 市民へのアンケートについて 学校の適正規模・適正配置について
5	平成 15 年 8 月 12 日	(火)	教育委員室	顧問会議
6	平成 15 年 8 月 18 日	(月)	エポック中原 第 3 会議室	【第 2 回策定委員会】(専門委員含む) 各専門部会の論点の報告 川崎の教育の基本的な方向性について
7	平成 15 年 10 月 4 日	(土)	教育文化会館 第 7 会議室	【第 2 回社会教育専門部会】 プランの構造・目標について
8	平成 15 年 10 月 16 日	(木)	教育文化会館 視聴覚室	【第 2 回教育行政専門部会】 プランの構造・目標について 重点施策について
9	平成 15 年 10 月 21 日	(火)	高津市民館 視聴覚室	【第 2 回学校教育専門部会】 プランの構造・目標について 重点施策について
10	平成 15 年 11 月 4 日	(火)	高津市民館 第 6 会議室	【第 3 回社会教育専門部会】 重点施策について
11	平成 15 年 11 月 6 日	(木)	教育文化会館 第 6・7 会議室	【第 3 回教育行政専門部会】 重点施策について
12	平成 15 年 11 月 7 日	(金)	高津市民館 第 5 会議室	【第 3 回学校教育専門部会】 重点施策について
13	平成 15 年 11 月 29 日	(土)	教育委員室	正副委員長会議
14	平成 15 年 12 月 5 日	(金)	教育委員室	顧問会議
15	平成 15 年 12 月 8 日	(月)	教育委員室	正副委員長会議
16	平成 15 年 12 月 14 日	(日)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 3 回策定委員会】 中間報告検討素案について
17	平成 16 年 1 月 15 日	(木)	教育文化会館 第 6・7 会議室	【第 4 回教育行政専門部会】 中間報告検討素案について
18	平成 16 年 1 月 19 日	(月)	エポック中原 第 3 会議室	【第 4 回学校教育専門部会】 中間報告検討素案について
19	平成 16 年 1 月 20 日	(火)	教育文化会館 第 1 会議室	【第 4 回社会教育専門部会】 中間報告検討素案について
20	平成 16 年 2 月 4 日	(水)	教育文化会館 第 4 会議室	【第 5 回学校教育専門部会】 中間報告検討素案について
21	平成 16 年 2 月 5 日	(木)	教育文化会館 第 6・7 会議室	【第 5 回教育行政専門部会】 中間報告検討素案について

22	平成 16 年 2 月 11 日	(水)	エポック中原 第 3 会議室	【第 5 回社会教育専門部会】 中間報告検討素案について
23	平成 16 年 3 月 8 日	(月)	教育委員室	正副委員長会議
24	平成 16 年 3 月 10 日	(水)	教育委員室	正副委員長会議
25	平成 16 年 3 月 17 日	(水)	教育委員室	顧問会議
26	平成 16 年 3 月 26 日	(金)	教育委員室	正副委員長会議
27	平成 16 年 4 月 2 日	(金)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 4 回策定委員会】(専門委員含む) 中間報告について
28	平成 16 年 4 月 12 日	(月)	教育委員室	正副委員長会議
29	平成 16 年 5 月 11 日	(火)	教育文化会館大会議室	【中間報告市民説明会】
30	平成 16 年 5 月 15 日	(土)	高津市民館大会議室	【中間報告市民説明会】
31	平成 16 年 5 月 21 日	(金)	麻生市民館大会議室	【中間報告市民説明会】
32	平成 16 年 6 月 28 日	(月)	教育委員室	正副委員長会議
33	平成 16 年 7 月 15 日	(木)	教育委員室	顧問会議
34	平成 16 年 7 月 16 日	(金)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 5 回策定委員会】(専門委員含む) 平成 16 年度のスケジュールについて
35	平成 16 年 7 月 16 日	(金)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 6 回教育行政専門部会】 平成 16 年度のスケジュールについて
36	平成 16 年 7 月 16 日	(金)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 6 回学校教育専門部会】 平成 16 年度のスケジュールについて
37	平成 16 年 7 月 16 日	(金)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 6 回社会教育専門部会】 平成 16 年度のスケジュールについて
38	平成 16 年 9 月 3 日	(金)	教育委員室	正副委員長会議
39	平成 16 年 9 月 17 日	(金)	教育文化会館 第 2 学習室	【第 7 回教育行政専門部会】 かわさき教育プラン素案について
40	平成 16 年 9 月 18 日	(土)	高津市民館第 1 音楽室	【第 7 回社会教育専門部会】 かわさき教育プラン素案について
41	平成 16 年 9 月 20 日	(月)	高津市民館 第 1・2 会議室	【第 7 回学校教育専門部会】 かわさき教育プラン素案について
42	平成 16 年 10 月 5 日	(火)	教育文化会館 第 6・7 会議室	【第 6 回策定委員会】 かわさき教育プラン素案について
43	平成 16 年 10 月 11 日	(月)	中原市民館 第 2 会議室	正副委員長会議
44	平成 16 年 10 月 28 日	(木)	高津市民館第 1 音楽室	【第 8 回社会教育専門部会】 かわさき教育プラン(第 2 次素案)について
45	平成 16 年 11 月 1 日	(月)	高津市民館視聴覚室	【第 8 回学校教育専門部会】 かわさき教育プラン(第 2 次素案)について
46	平成 16 年 11 月 4 日	(木)	教育文化会館第 2 会議室	【第 8 回教育行政専門部会】 かわさき教育プラン(第 2 次素案)について
47	平成 16 年 11 月 21 日	(日)	明治安田生命ビル 第 1 会議室	【第 9 回社会教育専門部会】 かわさき教育プラン(第 3 次素案)について

48	平成 16 年 11 月 22 日	(月)	教育文化会館 第 6・7 会議室	【第 9 回教育行政専門部会】 かわさき教育プラン(第 3 次素案)について
49	平成 16 年 11 月 23 日	(火)	明治安田生命ビル 第 1 会議室	【第 9 回学校教育専門部会】 かわさき教育プラン(第 3 次素案)について
50	平成 16 年 12 月 10 日	(金)	教育委員室	正副委員長会議
51	平成 16 年 12 月 15 日	(水)	教育委員室	顧問会議
52	平成 16 年 12 月 26 日	(日)	ユニオンビル (富士通労働会館) セミナールーム	【第 7 回策定委員会】 かわさき教育プラン(案)について
予定	平成 16 年 1 月 11 日	(日)	高津市民館	教育委員会への答申
予定	平成 17 年 2 月 19 日	(土)	高津市民館大ホール	【かわさき教育プランシンポジウム】

3 かわさき教育プラン策定委員会設置及び運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、かわさき教育プラン策定委員会(以下「策定委員会」という。)の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 策定委員会は、次の事業を行う。

- (1) かわさき教育プランの策定。
- (2) かわさき教育プランの策定に必要な調査、研究。
- (3) かわさき教育プランの策定に関する冊子等の刊行。

(組織)

第3条 策定委員会は、別表1に掲げる委員をもって組織する。

(任期)

第4条 策定委員会の委員の任期は、2年とする。ただし、途中で委員の交替の必要が生じた場合、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長1名、副委員長3名を置くものとする。

- 2 委員長は委員の互選により定めるものとし、委員長は策定委員会を代表し会務を総理する。
- 3 副委員長は、専門部会の部会長をもって構成し、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 策定委員会は、委員長が招集し会議を主宰する。

- 2 策定委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門部会)

第7条 策定委員会に次の専門部会を置く。

- (1) 教育行政専門部会
 - (2) 学校教育専門部会
 - (3) 社会教育専門部会
- 2 専門部会は、別表2に掲げる委員をもって組織する。
 - 3 専門部会は、部会長が必要に応じてこれを招集し、開催するものとする。

(顧問)

第8条 策定委員会に顧問を置く。顧問は別表3のとおりとする。

- 2 顧問は必要に応じ、かわさき教育プラン策定に関し、助言を行うものとする。

(会計)

第9条 策定委員会の経費は、川崎市の委託料をもって充てる。

(事務局)

第10条 策定委員会の事務局は、川崎市教育委員会事務局総務部企画課に置く。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、策定委員会で定めるものとする。

附則

- 1 この要綱は、平成15年4月26日から施行する。

4 委員名簿

策定委員 委員長、副委員長（専門部会長）

		氏名	現職等
学識経験者	1	大森 彌	東京大学名誉教授、千葉大学法経学部教授
	2	小松 郁夫	国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長
	3	新井 郁男	放送大学教授(埼玉学習センター所長)
	4	児島 邦宏 (~H16..27)	東京学芸大学教育学部教授
		小島 弘道 (H16..28~)	筑波大学人間総合研究科教授
	5	佐藤 一子	東京大学大学院教育学研究科教授
	6	田中 雅文	日本女子大学教授
	7	田辺 誠	田辺内科クリニック院長、市学校保健会長
	8	齋藤 勝	さざなみ幼稚園長、日本女子大学講師
9	柴田 頼子	学校法人鷗友学園常務理事	
市民代表	10	秋山 薫 (~H15.7.2)	PTA 推薦
		西山 克枝 (H15.7.3~)	
	11	中島 豪一	川崎市全町内会連合会会長
	12	今井 淑子	公募市民
	13	増田 和子	公募市民
	14	左澤 充克	公募市民
15	八木 晋郎	川崎信用金庫理事長	
報道	16	三好 秀人	神奈川新聞社編集委員
教職員	17	寺尾 央	元小学校長
	18	江幡 淳	元中学校長
	19	峪 正人 (H16.7.12~)	小学校長会代表(木月小学校長)
	20	正村 和久 (H16.7.12~)	中学校長会代表(宮前平中学校長)
	21	吉田 正和	川崎市教職員組合執行委員長
行政	22	北條 秀衛	総合企画局長
	23	河野 和子	教育長

教育行政専門部会 専門委員

		氏名	現職等
学識経験者	2	小松 郁夫	国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長
	24	高橋 寛人	横浜市立大学国際文化学部助教授
	25	中村 立子	川崎市男女共同参画センター館長
	26	佐々木 賢司	宮前区役所保健福祉センター子ども教育相談員
市民	12	今井 淑子	公募市民
	27	西山 克枝 (~H15.7.2)	PTA 推薦

		大川 健治 (H15.7.3~)	
教員	28	峪 正人 (~H16.7.11)	梶ヶ谷小学校長
		村上 寛 (H16.7.12~)	旭町小学校長
行政	29	田中 則之 (~H16.7.11)	総合企画局企画調整課長
		瀧峠 雅介	
	30	松井 孝憲 (~H16.7.11)	教育委員会企画課主査
		平野 誠 (H16.7.12~)	教育委員会事務改善担当主幹

学校教育専門部会 専門委員

		氏 名	現 職 等
学識経験者	4	児島 邦宏 (~H16..27)	東京学芸大学教育学部教授
		小島 弘道 (H16..28~)	筑波大学人間総合研究科教授
	31	天笠 茂	千葉大学教育学部教授
	32	西野 博之	リ-ｽﾌﾟ-ｽたまりば 代表
	33	片山 世紀雄	総合教育センター家庭訪問相談員
市民	13	増田 和子	公募市民
	34	斉藤 陽子 (~H15.7.2)	PTA 推薦
		内田 省治 (H15.7.3~ H16.7.11)	
谷地中 忠彦 (H16.7.12~)			
教員	35	沢木 光雄 (~H16.7.11)	平間中学校長
		白井 達夫 (H16.7.12~)	宮崎小学校長
	36	本間 俊	中原小学校教頭
行政	37	村上 寛 (~H16.7.11)	総合教育センター教科教育研究室長
		井藤 直美 (H16.7.12~)	中野島中教諭
	38	中島 慎一	総合教育センター障害児教育研究室長
	39	渡辺 直美	教育委員会指導課主幹

社会教育専門部会 専門委員

		氏 名	現 職 等
学識経験者	5	佐藤 一子	東京大学大学院教育学研究科教授
	40	奥村 廣重	大妻女子大学教授、川崎市スポーツ振興審議会会長
	41	大下 勝巳	社会教育委員会議議長、日本広報協会理事
	42	福島 一男	総合教育センター教育相談員

市民代表	14	左澤 充克	公募市民
	43	豊島 このみ (~ H15.7.2)	PTA 推薦
		金子 文雄 (H15.7.3 ~ H16.7.11)	
		松波 昭光 (H16.7.12 ~)	
	44	川西 和子	社会教育委員、宮前区地域教育会議議長
45	斉藤 正彦	社会教育委員会議副議長、主任児童委員	
教員	46	白井 達夫 (~ H16.7.11)	宮崎小学校長
		沢木 光雄 (H16.7.12 ~)	平間中学校長
行政	47	寺内 藤雄 (~ H16.7.11)	教育委員会生涯学習推進課長
		浜田 哲郎 (H16.7.12 ~)	
	48	伊藤 弘 (H16.7.12 ~)	総合企画局企画調整課主幹

顧問

氏 名	現 職 等
大熊 辰熊	元教育長 (平成 3 年 4 月 ~ 平成 7 年 3 月)
小机 實	元教育長 (平成 7 年 4 月 ~ 平成 11 年 3 月)
松下 充孝	前教育長 (平成 11 年 4 月 ~ 平成 14 年 3 月)

5 諮問文

平成15年 5月21日

かわさき教育プラン策定委員会
委員長 新井 郁男 様

川崎市教育委員会
委員長 黒田 俊夫

かわさき教育プランの策定について（諮問）

本市におけるかわさき教育プラン策定にかかる次のことについて貴委員会の意見を求めます。

- 1 教育行政に関する事
- 2 学校教育に関する事
- 3 社会教育に関する事

(理 由)

1 川崎市の教育目標

川崎市の教育目標は、川崎市教育委員会の発足とともに、次のように設定され、教育活動の指針とされてきたとともに、またその帰着点とされてきました。

- (1) 科学的で実行力のある市民
- (2) 民主的で明るい市民
- (3) 文化的で心身ともに豊かな市民
- (4) 生産的でたくましい市民
- (5) 国際的ではばのある市民

2 川崎市の総合プランと中期計画

昭和58年(1983年)3月、高度経済成長時代の終焉と新しい時代の招来の中で、来るべき21世紀に向かって本市がどのようにあるべきかという視点で、全庁的な施策の総合的プランとして、「2001かわさきプラン」が策定されました。

以来、高齢化、グローバル化、高度情報化、景気の長期低迷化等激しい時代の流れの中で、教育委員会の施策も様々な見直しが行われ、次の各中期計画の中に、その施策も位置付けられてきました。

- (1) 「川崎市中期計画1989-1993」(平成2年3月)
- (2) 「川崎新時代2010プラン」(平成5年3月)
- (3) 「同第1次中期計画1993-1997」(平成5年8月)
- (4) 「同第2次中期計画1996-2000」(平成8年4月)
- (5) 「同第3次中期計画1999-2003」(平成11年4月)

3 教育委員会の施策の策定

昭和59年(1984年)6月に市長から「川崎の教育のあり方」についての諮問を受けた川崎市教育懇談会は、昭和61年(1986年)11月・本市の21世紀に向けた教育の全般について、長期的展望と予測のもとにそのあり方を「いきいきとした川崎の教育をめざして」として答申しました。

本答申は、現在まで本市教育のあらゆる分野の基本的指針として、その役割を果たしてきたが、同時に関分野での施策としては様々な計画や報告がなされており、最近の主な計画は次のようになっています。

- (1) 「川崎市生涯学習推進基本計画」(平成5年3月)
- (2) 「Catch Smile Plan 川崎市生涯スポーツ振興基本計画」(平成6年3月)
- (3) 「川崎市幼稚園教育振興計画」(平成10年3月)
- (4) 「川崎市立高等学校教育振興計画」(平成14年3月)

4 教育プラン策定の具体的理由

はじめに、本市の教育に係る施策の総合的な計画は、昭和59年(1984年)の市長の諮問に対して答申があった「いきいきとした川崎の教育をめざして」であるが、策定されて既に18年が経過しようとしており、現在の全国的及び本市の教育界の状況と必ずしも適合していないことや、既に一定の成果が見られる内容もあり、本市の教育のあり方について再構築が必要と考えられること。

2つには、既に策定されている各計画等については、各分野の個別の計画であり、総合的に一体化された計画とはなっていないこと。

3つには、教育委員会が所管する全ての分野での施策の計画が策定されていないという現況に鑑みて、本市全体の教育理念や目標のもとに、各分野の一定期間の相互に調整された総合教育プランが必要と考えられること。